

花、華やかな大学に – 花植え活動

2011.06.28

本部棟までの花壇では、四季を通じて美しい花が咲き、職員・学生をはじめ地域の方々を楽しませてくれていますが、6月24日(金)に花の植替え作業を行いました。

植替え作業は、調布市のボランティアグループ「調布花・はな」の支援により、平成15年から実施していますが、今回は、同グループの皆さん(5名)とともに、教職員(43名)、学生(4名)、本学と連携協定を締結している東京都立調布特別支援学校の小学部6年生の生徒及び職員(25名)のほか、調布市からも長友市長にご参加いただき、総勢78名で「コリウス、日々草、ポーチュラカ」など春から秋に向けて咲く花を植えました。

梶谷学長、長友調布市長、兵馬特別支援学校長の挨拶の後、花・はなグループリーダーの原さんから「根をほぐしてから、少し深く植えるように」との指示があった後、花植えを行いました。今回は、真夏日の炎天下でしたが、今までにない参加者で、10分ほどで作業が終了しました。

この花植え活動は、春と秋の2回実施しており、日頃の水道りや花壇の手入れは「花・はなグループ」の皆さんが行ってくれています。同グループのご尽力により、いつも可憐な花々が咲き、我々に潤いと安らぎを与えてくれます。



第6回キャンパス美化活動を実施

2011.7.26

7月15日(金)の午後4時20分から1時間、社会連携センター、学生課学生スタッフ、学友会、電気通信大学生生活協同組合学生委員会、International Cultural Exchange Society (ICES)、ボランティア推進部が主体となって、第6回キャンパス美化活動を実施した。

今回は、7月17日(土)に行われるオープン・キャンパスを前に、職員と学生が協力してキャンパス内外の美化に努めることを目的に企画、実施したもので、当日は、学生と職員のペアで学外6グループ、学内10グループに分け、ゴミ拾いを中心に草取りなども行った。

当日は、猛暑の中で行われたが、職員・学生が約100名が参加した。

【活動の概要】

- | | |
|-------|---|
| 16:20 | コミュニケーションパーク集合
社会連携センター長あいさつ
学生スタッフあいさつと概要説明
参加団体の長の紹介
作業上の注意事項説明 |
| 16:30 | 作業開始
学外：電通大通・大学敷地沿（6グループ）
学内：東・西地区（10グループ） |
| 17:20 | 終了 |



若者のパワーとセンスが社会を変える – 社会連携シンポジウム開催

2011.11.25

シンポジウムでは、大学外のみなさん（近隣の企業、教育機関、教育関連組織）と共に、社会連携について連携のありかたを探ってきました。震災がボランティアへの関心を惹起したといわれますが、学生が活躍できる場所をもっとひろげることはできないか考えました。教員と市民の皆さんからボランティアの事例が報告され、可能性が提案されました。

そのあと懇親会となるのが通例ですが、今回は、地域の子育てネットワークと連携して「ワールドカフェ」を実施しました。井戸端会議の精神を体系化したこの手法は、ある意味で大学の文化へのアンチテーゼといえます。



1月11日（火）の午後4時20分から1時間、社会連携センター、学生課学生スタッフ、ボランティア推進部が主体となって、第7回キャンパス美化活動を実施した。

今回は、1月14日（土）・15日（日）に行われるセンター試験を前に、職員と学生が協力して学内外の落ち葉やゴミを収集し、キャンパス内外の美化に努めることを目的に企画、実施したもので、当日は、寒波で強風の中、職員・学生が約55名参加し、学外5グループ、学内14グループに分け、主に落ち葉掃きを中心にゴミ拾いを行った。

なお、収集した落ち葉（イチヨウは除く。）は、花植え活動で協力いただいている「調布花・はなの会」と共同で、堆肥化に取り組むことにしている。

【活動の概要】

- 16:20 コミュニケーションパーク集合
社会連携センター長あいさつ
作業上の注意事項説明
- 16:30 作業開始
学外：電通大通・大学敷地沿（5グループ）
学内：14グループ
- 17:20 作業終了・解散

